

Enterprise Server rE5000 シリーズ

ビジネスの価値とスピードを向上させるラックサーバシリーズ

rE5000/DL360 Gen10 rE5000/DL380 Gen10 rE5000/DL580 Gen10

rE5000/
DL580 Gen10



rE5000/
DL380 Gen10



rE5000/
DL360 Gen10



Foresight in sight

新技術採用とオープンインタフェースの実装 システムの導入と運用を容易化 最大7年間のハードウェア保守で安定稼働を提供

Enterprise Server rE5000シリーズは、優れた処理性能と高い可用性により、ビッグデータ時代の爆発的なデータ増加やクラウドをはじめとする多様な利用形態に対応した、より柔軟で効率のよいIT基盤を実現するサーバです。DL360/DL380は最大28コアの第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを最大2個、メモリーを最大6TiBまで搭載可能なハイパフォーマンスなラックマウント型サーバ、DL580は最大28コアの第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを最大4個、メモリーを最大12TiBまで搭載可能でハイパフォーマンスな大中規模システム向けのラックマウント型サーバです。高密度実装を実現し、HDD/SSDをDL360 Gen10では最大11台、DL380 Gen10では最大30台、DL580 Gen10では最大48台実装可能で、高いパフォーマンスで大容量データの収容が可能となり、さまざまなシステムソリューションの運用に対応します。さらに、6年保守対応モデル・7年保守対応モデルを選択でき、長期間にわたるシステムの安定稼働を支援します。



- ・1UサイズでCPU最大56コア、高性能で省スペースなサーバ
- ・最大28コアの第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを最大2個、メモリーを最大6TiBまで搭載可能
- ・3種類のドライブ搭載シャーシをラインアップ、HDD/SSDを最大11台搭載可能
- ・150TiBを越える大容量ストレージ構成を実現
- ・PCI Express 3.0を最大3スロット、3D-VDI対応のGPUや100GbEの高速LANボードをサポート
- ・ハードウェアセキュリティ機能を実装、改ざんされたファームウェアの検出・リカバリが可能



- ・2Uサイズで大容量HDD/SSD構成が可能な高性能、高拡張性サーバ
- ・最大28コアの第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを最大2個、メモリーを最大6TiBまで搭載可能
- ・4種類のドライブ搭載シャーシをラインアップ、HDD/SSDを最大30台搭載可能
- ・オールフラッシュ構成で400TiBを越える大容量ストレージ構成を実現
- ・PCI Express 3.0を最大8スロット、3D-VDI対応のGPUや100GbEの高速LANボードをサポート
- ・ハードウェアセキュリティ機能を実装、改ざんされたファームウェアの検出・リカバリが可能



- ・4UサイズでCPU最大112コア、高性能DB、仮想化統合向サーバ
- ・最大28コアの第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサを最大4個、メモリーを最大12TiBまで搭載可能
- ・オールフラッシュ構成で、最大600TiBを越える大容量ストレージ構成を実現
- ・PCI Express 3.0を最大16スロット、3D-VDI対応のGPUや100GbEの高速LANボードをサポート
- ・ダブルワイドのGPUを4基搭載でき、ディープラーニング用途への適用も可能
- ・ハードウェアセキュリティ機能を実装、改ざんされたファームウェアの検出・リカバリが可能

新技術採用とオープンインタフェースの実装

- ### ビジネスの効率向上に貢献する機能を実装
- ・NVMeインタフェースを実装した高速SSDを採用し、ビッグデータ分析など各種分析ワークロードのリアルタイム性を大幅に向上。
 - ・インテル® Optane™ DC パーシステント・メモリーをサポートし、DDR4メモリースロットに1プロセッサあたり最大3TiBを搭載可能。
 - ・NVIDIA社製GPU※1を多種サポートし、各種シミュレーション、AI※2コンピューティングおよび高精細グラフィック処理に対応した仮想クライアント構築を実現。
 - ・複雑化するセキュリティ攻撃に対し、ハードウェアレベルでのセキュリティ対応を大幅に強化。

- ### オープンインタフェースの実装
- 業界標準インタフェースであるRESTful API※1の採用により、API※2準拠ソフトウェアからrE5000シリーズの管理が可能となります。主要なISV※3ソフトウェアやOSS※4への接続性が向上し、サーバ管理のシンプル化・効率化を図れます。

システムの導入と運用を容易化

- ### エージェントレス管理を実現した導入 / 運用ツール
- 最新のオープンインタフェースとサーバ管理のコア機能を標準装備した管理プロセッサ(iLO5)を搭載。これにより、エージェントレス構成で動作する導入支援ツール「Intelligent Provisioning」と統合運用ツール「iLO※連携(iLO Federation)」を提供し、複数サーバの導入と運用が容易になります。

※1 GPU : Graphics Processing Unit
※2 AI : artificial intelligence

※1 RESTful API : Web システムのための API
※2 API : Application Programming Interface
※3 ISV : independent software vendor
※4 OSS : Open-source software

※ iLO : Integrated Lights-Out

Enterprise Server rE5000シリーズ

rE5000シリーズ

モデル名	rE5000/DL360 Gen10	rE5000/DL380 Gen10	rE5000/DL580 Gen10
筐体タイプ	1Uラックマウントタイプ		4Uラックマウントタイプ
プロセッサ[コア数]	第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー 【最大28コア】 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー 【最大28コア】		
プロセッサ数	最大2		最大4
メモリー最大容量	6TiB(メモリーモード時)*1 3TiB*2		12TiB(メモリーモード時)*1 6TiB*2
ドライブ搭載数	3.5型最大4台 または 2.5型最大11台 または NVMe最大10台+2.5型最大1台	3.5型最大19台+2.5型最大2台 または 2.5型最大30台 または NVMe最大20台+2.5型最大1台	2.5型最大48台 または NVMe最大20台
ネットワークインタフェース	Ethernet 1Gb 4ポート ネットワーク アダプター		Ethernet 1Gb 4ポート ネットワーク アダプター または Ethernet 10Gb 2ポート ネットワーク アダプター または Ethernet 25Gb 2ポート ネットワーク アダプター
拡張スロット	PCI Express 3.0 × 3(最大) Smartアレイスロット×1 (Smartアレイコントローラ用) FlexibleLOM専用スロット×1	PCI Express 3.0 × 8(最大) Smartアレイスロット×1 (Smartアレイコントローラ用) FlexibleLOM専用スロット×1	PCI Express 3.0 × 16(最大) FlexibleLOM専用スロット×1
外形寸法(W×D×H)	SFF(2.5型)タイプ:43.5×70.7×4.3cm LFF(3.5型)タイプ:43.5×75.0×4.3cm	SFF(2.5型)タイプ:44.6×68.0×8.8cm LFF(3.5型)タイプ:44.6×73.1×8.8cm	44.6×75.2×17.5cm
質量	最大16.8kg	最大24.5kg	最大51.8kg
電源	100-120 V(50 / 60 Hz) / 200-240 V(50 / 60 Hz) 最大2 冗長構成対応		100-120 V(50 / 60 Hz) / 200-240 V(50 / 60 Hz) 最大4 N+1冗長構成 または N+N冗長構成
サポートOS	Microsoft® Windows Server® / Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi™		
ハードウェア保定期限	6年保守対応モデルと7年保守対応モデルを設定		

*1 第2世代インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー搭載時。*2 インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサー搭載時。
Smartアレイ: RAIDコントローラ FlexibleLOM: メザンネットワークアダプタ SFF: Small Form Factor LFF: Large Form Factor 1U: 44.45mm
装置容量表記は 1KiB=1,024バイト、1MiB=1,024²バイト、1GiB=1,024³バイト、1TiB=1,024⁴バイトとして表現しています。
使用可能なメモリー容量はOSや機器の構成・設定により異なります。
本製品は高調波電流規格: JIS C 61000-3-2適合品です。
本製品は、VCCI基準(一般財団法人VCCI協会基準)クラスA情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
インテル、Intel、Xeon、Intel Core、PentiumおよびIntel Optaneは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
MicrosoftおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
NVMeは、NVM Express, Inc.の商標です。
Red HatおよびRed Hat Enterprise Linuxは米国およびその他の国でRed Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。
LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
VMware、VMware ESXiは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。
その他記載の会社名・製品名などはそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日本ユニシス株式会社

●お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 〒135-8560
電話 03-5546-4111(大代表)
<https://www.unisys.co.jp/>

Copyright© 2019 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.

本リーフレットに掲載されている文章、写真、イラスト、画像およびこれらを組み合わせた編集物は著作権法による保護を受けており、これらの著作権は、日本ユニシス株式会社に帰属するほか、第三者の著作によるものである場合は当該第三者に帰属しています。
改良のため予告なしに性能・仕様を変更することがあります。また商品の色は印刷の都合により多少異なることがあります。

090001039-8 七 1910